

10月26日～29日にかけて、当センターのセンター長小林 拓先生と副センター長佐上晋太郎先生が台湾で行われた腸管エコーの講義とHands-on seminarを実施しました。アジア、アフリカ、オセアニアを含む世界各地から集まった炎症性腸疾患の専門家と共に、腸管エコーの技術の普及に向けた活動や将来の医療の方向性について、議論を深めました。このような国際的なセミナーは、私達が世界の医療に対して提供できる知見と経験を広げる大切な機会です。

